

## 更なる飛躍を、国技相撲甚句会

昨年12月21日に一年を締めくくる会の総会を開催。会計報告の後一年を振り返り、本年の計画を決めました。今年会員数を20名にする事を決議。稽古の月間テーマ甚句の取決め、会則の一部変更、各担当を全会員に割り振りました。定例のイベントとして春の研修旅行は江ノ島・鎌倉（泊）。春分の日には靖国神社奉納。慰問は年間3カ所。地域の祭への参加も決まっております。今年も忙しい一年になりそうです。2月の関東地区東京大会は会のモットーの全員参加で2チームが発表します。入会1、2年目のチームはベテラン勢をドスコイ隊にしてオリジナル企画で挑戦。楽しい甚句に乞うご期待です。発会7年目を迎え、会の名付け親先代永男会長の直系の教え子としての誇りを忘れず大相撲本場両国を拠点に更なる飛躍を目指します。

会長 永井順



## のり甚句

大関若嶋津引退甚句

へ燃えろ火を吐け 薩摩の健児ヨ  
ア！天にとどけと塩をまく 努力の力士若嶋津  
生れは南の種子島 学びし鹿児島商工と  
桜島にと見送られ 鍛えし部屋なら三子山  
五十五年に幕の内 土俵に波乱をまきおこし  
あの南海の黒豹と 津々浦々に異名とり  
郷里の九州本場所 新大関にと昇進し  
五十九年初優勝 つづく名古屋で全勝と  
六十年には最愛の みずえさんとの婚礼に  
勝負にかけた各場所も六十二年の七月に  
炎の土俵も燃えつきて あまたファンに惜しまつ  
本日引退大相撲 年もあらたな初春に  
これから松と親類方の 第二の人生門出とし  
どうぞご支援、応援いたしますヨ

作 呼出し、永男  
唄 呼出し、三郎

永男は二所ノ関部屋でした  
二年ぶりに彼により二所ノ関部屋が復活しました  
永男もさぞかし喜んでる事でしょう

## これからの予定

平成27年  
2月7日(土) 東京主催 関東大会  
2月21日(土) 総会 両国ベルグラnde  
3月14日(土) 大阪主催 西部大会  
4月14日(火) 創始者 永男命日  
5月30日(土) 江戸東京博物館  
相撲甚句全国大会



# 相撲 びに東西

発行日  
27年1月15日  
一月場所号  
No.85

発行所  
日本相撲甚句会  
〒130-0026 東京都  
墨田区両国 2-21-5  
ダイカンプラザ301号  
TEL. 03-3635-8834  
FAX. 03-3635-8854  
編集 飯田三千代  
http://www.  
sumoujinku.com

## 新年あけましておめでとうございます

後を継いでから早いもので二年の歳月が流れました。暗中模索の中でのこの環境にもだいたい慣れ、常に前を向き歩いて行きたいと願うとともに、父が掲げていた『仲良く、楽しく、面白く』を実践して行きたいと思っております。父は生前私に「甚句を唄っている人は、多くの人に見てもらいたいものなんだよ」と言っていました。その言葉をそのまま受け止め、より多くのお客様がおいでになる場をどう作ればいいのか、これが課題でした。そんな中の昨年の全国大会は常に立ち見席状態になる程の大成功に終わり、多くの方々からお誉めの言葉を頂きました。

そしてこうも言っております。「唄う場を多く作ってあげなきゃいけないんだよ」「だから関東大会は大事なんだ」と。そしてついに東京甚句会武藤会長のご英断と、関東の皆様のお心により、今年第一回関東大会が開催されます。

若輩者がこの会を支えようとしても、じり貧になってしまつては意味が無い。会を、そして会員をどう増やすかも考えて行かなければいけません。永男の様な技もありません。しかしながらこれについても昨年度は、宝満甚句会、薩摩甚句会、敦賀甚句会と3団体の入会があり、着実に大きくなっています。

最近やつと父の甚句を整理しはじめました。永男が作り三郎が唄う、永男が作り大至が唄う、永男が作り国錦が唄う、永男が作りのど自慢が唄う。そう多くの作品の中に父と甚句との歴史をかいま見ることができました。



約50年という長い歳月をかけ「名所甚句」なるご当地ソングを数々手がけ、それをきっかけに多くの方々に大相撲共々喜ばれ、相撲甚句を日本全国に広めてきた事を思うと、改めて「すごい人」と思わざるをえません。しかし、相撲甚句はあくまでも「相撲」があつての相撲甚句です。日本相撲甚句会では永男が掲げていた理念に『大相撲の伝統と文化を影から支える』との言葉があります。相撲には神聖な場所があり「心」があります。それは我々日本相撲甚句会の中にも必要なものだと思っております。欲望や名声にかられる事無く、純粹に、神聖な気持ちで「楽しく唄う」だからこそ人々の心に残る。見ず知らずの方が相撲甚句を唄う皆さんを見る時、一種のあこがれのような、相撲に近い魅力を感じるのではないのでしょうか。是非皆さんも相撲甚句の伝道師としてプライドと誇りを持ち、永男の様に決して威張らず、「心」を持って唄って下さい。そして私も父の名を借りながら、受け継いできた相撲の「心」を伝えて行かなければなりません。

一般の社会に相撲甚句を広めてきた永男が創始者となる日本相撲甚句会はまさに相撲甚句を唄う方々の本拠地です。

この二年の間に様々な事柄があり、まさに井の中の蛙でしたが、温故知新の心でこれからも皆様のお力を借りながら、益々の日本相撲甚句会の発展を心に誓います。

飯田三千代



# 第11回 北部地区南部大会 26年11月8日



温泉で有名な花巻のホテルで南部大会が行われました。寒い時期での開催ということもあり、東北地区の方々の参加は少々少なめでしたが、北広島甚句会、青森甚句会、山形甚句会、東京からは城東甚句会や、東京甚句会、南は大阪甚句会の参加もあり、一般のお客様を呼び入れて、踊りの披露等もあり、和やかに行なわれました。南部甚句会の佐々木マルヨさんは車椅子での参加にもかかわらず、元気な唄声を披露してくれました。

# 第15回 東海地区御殿場大会 26年11月15日



御殿場時之栖で行なわれた大会は県内外から10団体も集まり、それはそれは盛大に行われました。プロによる司会進行や、若者の太鼓のショーもあり、参加した大勢の皆様を飽きさせない工夫が感じられました。なんとと言っても会員の奥様方が総出でサポートにまわり、夫唱婦随の仲の良さが、この大会の成功を握ったように感じます。時之栖はクリスマスイルミネーションの真ただ中で、広大な会場のそこかしこでの美しい光の世界も体験でき、耳と目で楽しませてもらいました。

上記写真にはありませんが、さがみ甚句会・鹿島甚句会も参加してくださいました。

## 水戸相撲甚句会

秋はイベントの季節、特に九月は例年になく多方面からの甚句公演依頼が多く週一回のペースで水戸市内に限らず県内外からお声がかかり、嬉しい悲鳴といったところでした。老人ホームと地域の納涼会、高齢者の生涯学習会、敬老会のアトラクション等、会場の皆様と一緒に楽しませてもらいました。一時間半の公演では、一般的な唄のみならずお客様と唄うはやし唄、合間に相撲豆知識等を折込、盛り上げに工夫を：こちらも勉強になります。お客様の声として、甚句は初めて聞きましたが素晴らしい、文句が良い、声が出ていて元気があふれる等：嬉しいお誉めの言葉も頂いて、また練習を重ね甚句の良さを広めたいと意を強くしております。



会長  
佐々木勝也

## 武州相撲甚句会

今年も敬老会の季節がやってきました。昨年もお邪魔した桶川市の「べに花ふるさと館」です。「お帰りなさい、ここはあなたの心のふるさとです」と言うだけあって古民家をそのまま活用した落ち着いた施設です。今年も9月7日(日)「加納南部会・敬老会」にお招きを頂き甚句の披露を致しました。今年は2回目という事、そして人間川部屋の駒司関が応援出場してくれたこともあって参加の皆さんから手拍子を頂く等大変な盛り上がりでした。後の会食では当館名物の手打ちうどんをたらふく頂き大満足の日でした

会長 菅曉志郎

